

平成21年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	3つの環による元気づくり事業
事業主体 (連絡先)	麻績の里ふるさと応援倶楽部 (飯田市役所座光寺自治振興センター 担当:池田 電話 22-1401)
事業区分	(1) 地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,335,309 円 (うち支援金: 1,079,642 円)

事業内容

- ①米づくり 稲刈り体験の受け入れ
- ② " ふるさとパッケラベル・米袋作成
- ③ " 米倉庫購入
- ④里山づくり 山菜栽培先進地視察
- ⑤ " 里山整備・山菜苗木植樹
- ⑥域産域消の仕組みづくりヤマブドウ栽培・剪定学習会
- ⑦ " ヤマブドウ植樹
- ⑧情報発信 「麻績の里 座光寺便」 3回発行・送付
- ⑨ " ホームページ、メールによる情報発信



【稲刈り体験の受け入れ】

自己評価 (事業実施率) 【A】

事業効果

- 米販売のシステム作り: 生産した「こだわり米」を、地域内を始め、思いやゆかりのある人など、顔の見える範囲で有利販売・消費する仕組みづくりができた。
- 里山の活用: 手が入りにくい里山を整備し、山菜の苗木を植えることにより、里山活用の仕組みができた。
- 地域情報の発信: 麻績の里座光寺便により、地域の情報・取り組みを内外に発信できた。
- 都市との交流開始: 東京都渋谷区からの視察をきっかけに、リンゴ・柿の植樹という具体的な都市農村交流の第一歩を踏み出すことができた。

【目標・ねらい】

- 生産から販売までのシステム確立による持続可能な水田経営を図る
- 里山に親しむ人を増やし、守りながら森の恵みを活用した森林再生を図る
- 地域づくり団体間の情報交換を進め、活動の相乗効果を図る

自己評価 (目標達成率) 【A】

今後の取り組み

- ・座光寺地域内の地域づくり団体が、情報交換をしながら取り組んだことにより、新団体「麻績山ぶどう会」の発足も含めて、さまざまな具体的取り組みを進めることができた。
- ・今後も、地域の資源(自然・農業・人のつながり)を元に、さまざまな団体の取り組みを連携して、座光寺住民が「いきいきと豊かに暮らす」ための活動を続けていく。

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。